

恒例の小・中学生書初展が、先月14日から18日まで町体育館で開催されました。

各学年の特選入賞者は次のとおりです。

◎小学校の部

3年 小宮山 彩夏(脇小)

◎中学校の部

|             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|
| 4年 河内美沙(脇小) | 5年 元井洋平(脇小) | 6年 小熊身和(脇小) |
| 1年 結城       | 2年 新保尚子     | 3年 西山亞衣子    |
| 4年 河内美沙(脇小) | 5年 元井洋平(脇小) | 6年 小熊身和(脇小) |

## 恒例 書初展 開催される



## 決意新たに団結強める 消防団出初式



町内の各分団、各部の消防団員や配備されている消防車がそろって先月11日、「消防団出初式」が行われました。団旗に敬礼から始まった式典では、町長が「町民の尊い生命、貴重な財産を災害から守るために、一層の努力をお願いします」とあいさつ。駐車場で行われた一斉放水では、冬の青空に水のアーチが描かれ、参加者全員が平成9年の無火災、無災害を願いました。

▼広報の原稿は表などを除いて、すべてワープロで書いています。ワープロを使う前は鉛筆をなめながら書いては消し、消しては書き直すのですから机の上は消しゴムのカスの山、原稿用紙はます目が見えなくなるくらい薄くなってしまって、向こうが透けて見えるといった具合でした。ですから毎月の原稿の締切日近くになると、消しゴムの使い過ぎで指から手首にかけて筋肉痛でそれはもう大変だったんですから(それは冗談、印鑑をいっぱい押す時に力を入れ過ぎて手首をくじいたことはあるが……)。▼このように新しい技術は、また言えばもっと人間が楽をしたい、楽になりたい、という欲望が……)。▼このように新しい技術は、これらを便利だからといって無条件に受け入れてしまうことが人間社会に大きな問題を生む可能性を秘めているということも言えるのではないか。世紀末を迎えた今の社会を見ていると、何かそんなことを考えてしまいます。しかし、家庭では40年ほど前に電気洗濯機が登場してからというもの、世の中の女性が本当に楽ができるようになったことは間違ありませんね。結局は、新しい技術によって便利になるのは大歓迎、ただし、それをどのように使っていくかは人間の心がけ次第である、ということになるでしょう。



## 連綿と受け継がれ絶えぬ炎 燃える炎に福祈る 新保地区でさいの神

無病息災、五穀豊穫を祈る小正月(1月15日)の伝統行事「さいの神(どんど焼き)」が町内各地で執り行われました。

新保公園では、午後3時、地域の実行委員会が製作した2基のさいの神に着火。赤々と燃え盛った炎が少し収まると、集まつた人々はスルメや餅をつるした竿を一齊に伸ばし、今年1年の無病息災を祈っていました。



2







